科目 No.10

分　野	基礎分野	科　目	教育学		
必修・選択	必修	単位数 時間数（回数）	1 単位 30 時間（15 回）	配当時期	1 年全期
講師名	吉村理一	所属および実務経験	九州大学大学院言語文化研究院　助教／ 中・高等学校教諭専修免許		
	渡邊和子		とりかい介護老人保健施設／看護師		

【科目のねらい】

人が成長発達していく中で、その人の刺激となる教育（概念、教育を成り立たせる構成要素、学習理論、教育を営むための場やしくみ）について学びます。教育は社会との関係でその時代に固有なかたちで存在します。教育と社会、教育と家族の関連性も理解していきましょう。この科目の学びは、「学習支援」という看護活動につながっていきます。教育と看護には様々な共通点があります。教育学の学習を通して看護や学生生活に役に立つ考え方や方法を見出していきましょう。

【目的】

1．教育や教育課題を人の成長発達や社会との関係で捉える基盤を養う。

2．教育学の学びから、看護に役立つ考え方や方法を見出し、人々の健康にかかわる学習を支援する看護の基盤を養う。

【到達目標】

1. 教育を成り立たせる基本的な構成要素（教授・訓育・養護・発達）について説明することができる。
2. 学習理論について説明することができる。
3. 教育を営むための場（家庭と学校）やしくみ（目標・評価、メディア）について説明することができる。
4. 現代教育の課題について、自分の考えを述べることができる。
5. 看護専門職として生涯学び続ける重要性について述べることができる。
6. 看護における学習支援の目的と意義を説明することができる。
7. さまざまな場や健康状態の変化に伴う学習支援のあり方について説明することができる。
8. 個人・家族・集団を対象とした学習支援のポイントを列記することができる。

【DP との関連】

DP1　人々の様々な価値観を尊重したコミュニケーションを図り、より良い人間関係を築くことができる。

DP3　対象の反応から臨床判断し、健康レベルに応じた看護を科学的根拠に基づき実践することができる。

DP4　対象のＱＯＬ（Quality Of Life：生活の質）向上を目指し、対象の持てる力を活かした看護や安心・安全な生活を支援する看護を実践することができる。

DP5　多様な場で生活するあらゆる人々の健康に着目し、地域包括ケアシステム、チーム医療や多職種との連携・協働の視点を持ち看護を実践することができる。

DP６　心身の健康管理能力及び社会人基礎力や情報活用能力を発展させ、看護の質の向上を目指し、自ら学び続ける姿勢を表現することができる。

【授業の流れ】（全体スケジュール・学習内容・方法等）

回	日程	1 組	2 組	学習内容	方法	備考
1	9/1 （月）	1	1	社会のなかの教育と看護、教育とはなにか－「教育」の概念；形成、教化、教育	講義	吉村理一
2	9/1 （月）	2	2	教育の対象－子ども観と発達；子どもの権利（教育の権利） 社会変動と教育；少子化社会　教育の組織化―学校；演習Ⅰ：学校制度の国際比較	講義　演習 課題レポート （5）	
3	9/8 （月）	1	1	教授―人を教えるということ、訓育―他者とのかかわりを導く	講義	
4	9/8 （月）	2	2	養護―教育の受け手を見まもる、発達―教育を受けて成長する	講義	
5	9/22 （月）	1	1	学習理論	講義	
6	9/22 （月）	2	2	学びの場―家庭と学校	講義	

7	9/29 （月）	1	1	教育の目標と評価；リフレクション	講義	
8	9/29 （月）	2	2	教育のメディアー教育をデザインする；ICT の活用、協同学習、学習を取り巻く物と空間	講義	
9	10/6 （月）	1	1	ジェンダーとセクシュアリティ、特別ニーズ教育・インクルーシブ教育；障害児教育 演習Ⅱ：福岡市の中学校で導入された選べる制服について	講義　演習 課題レポート （5）	
10	10/6 （月）	2	2	キャリア教育（専門教育）：キャリアマネジメント 生涯学習：リカレント教育、成人学習、アンドラゴジー、自己教育力 演習Ⅲ：生涯学習の必要性について	講義　演習 課題レポート （5）	
11	10/8 （水）	3	3	A 学習支援の対象者と看護の役割 B 学習の基礎知識 C 学習支援の基礎知識（1：学習支援の基本的な考え方）まで	講義　演習 ポストテスト （3）×5回 課題レポート （5）×3 （12･14･15 回目）	渡邊和子
12	10/8 （水）	4	4	C 学習支援の基礎知識（2：さまざまな場における学習支援） 演習Ⅳ：外来受診や入院の経験から、看護師は学習支援としてどのような関わりができるか（課題レポート）		
13	10/16 （木）	1	1	D 学習支援の技術		
14	10/16 （木）	2	2	E 学習支援の実際 演習Ⅴ：個人と集団の学習支援の違いについて考察してみよう （課題レポート）		
15	10/22 （水）	2	2	演習Ⅵ：個人を対象とした学習支援と、その家族を含めた学習支援の違いについて考察してみよう（課題レポート）		
11 月 13 日（水）1 限目				筆記試験		

【準備学習内容】

テキストによる事前学習をしっかり行いましょう。テキスト学習を踏まえて授業は進んでいきます。

重要な箇所にはマーカーする、ディスカッション時に活用できるようポイントをメモしておくなど工夫し自己学習しましょう。

5 回目の学習理論は、心理学のテキストを使用します。

課題レポート：2 回目、9 回目～15 回目までは、演習Ⅰ～Ⅵまで 6 つのテーマあります。テーマについて調べ学習を行ない、レポートにまとめておきましょう。グループディスカッションしていきます。課題レポートは授業終了後、提出となります。

【使用するテキスト】

木村元編　系統看護学講座　基礎分野　教育学　医学書院　2024

山村豊他著　系統看護学講座　基礎分野　心理学　医学書院　2024

茂野香おる他著　系統看護学講座　専門分野　基礎看護学[2]　基礎看護技術Ⅰ　医学書院　2024

学習理論に関しては、講師が資料を配布する

【参考文献】

安彦忠彦他編　新版　よくわかる教育学原論　ミネルヴァ書房　2020

榎本淳子他編　エビデンスベースの教育心理学　心身の発達と学習の過程　ナカニシヤ出版　2020

深井喜代子編　基礎看護学２　基礎看護技術Ⅰ　第５版　メヂカルフレンド社　2023

【評価方法】

授業終了時のポストテスト（15 点）、課題レポートを含む演習への取り組み・成果（30 点）、筆記試験（55 点）

吉村理一：課題レポートを含む演習への取り組み・成果（15 点）、筆記試験（40 点）

渡邊和子：ポストテスト（15 点）、課題レポートを含む演習への取り組み・成果（15 点）、筆記試験（15 点）

課題レポートは指定された日時までに提出してください。指定日時までに提出されたものを評価の対象とします。

【受講上の注意】

※学校や塾、予備校でも、学習支援という言葉は使われますが、看護師としての学習支援(テキストの定義を理解して)で課題に取り組んで下さい。

事前学習や復習など自分で学習スケジュールを立て、計画的に行なっていきましょう。

科目 No.11

分　野	基礎分野	科　目	倫理学		
必修・選択	必修	単位数 時間数（回数）	1 単位 30 時間（15 回）	配当時期	1 年前期
講師名	林誓雄	所属および実務経験	福岡大学人文学部　教授		
	佐伯美穂子		白十字病院　看護部長／認定看護管理者		

【科目のねらい】

近年、少子高齢化の進展、医療技術の進歩に伴い現代医療の現場においても様々な倫理的問題が生じています。ここでは、現代医療における倫理的問題を理解し、問題に気づける倫理的感性、倫理原則を踏まえて解決できる力を身につけていきましょう。また看護倫理の原則、アドボカシー・責務・協力・ケアリングといった看護実践上の倫理的概念、看護職の倫理綱領について理解を深め、看護実践における看護倫理上の問題を解決していく能力を身につけていきましょう。

【目的】現代医療における倫理的問題や看護実践における看護倫理上の問題を人権擁護の視点から考察し、倫理的問題に気づける倫理的感性、倫理原則を踏まえて解決していく基礎的能力を養う。

【到達目標】

1. 生命倫理とは何か、生命倫理の 4 原則について説明することができる。
2. 現代医療における倫理的問題に気づき、自分の考えを述べることができる。
3. 看護の倫理原則、看護実践上の倫理的概念について、例を示して説明することができる。
4. 演習を通して、看護実践における看護倫理上の問題に気づき、看護職の立場でどのように行動すべきか具体的に述べることができる。
5. 看護職の倫理綱領から、看護師として社会に対して果たす倫理的役割と責任について例を示して説明することができる。

【DP との関連】

DP1　人々の様々な価値観を尊重したコミュニケーションを図り、より良い人間関係を築くことができる。

DP2　看護専門職の役割と責務を自覚し、倫理的判断に基づく看護実践やリーダーシップを示すことができる。

DP3　対象の反応から臨床判断し、健康レベルに応じた看護を科学的根拠に基づき実践することができる。

DP4　対象のＱＯＬ（Quality Of Life：生活の質）向上を目指し、対象の持てる力を活かした看護や安心・安全な生活を支援する看護を実践することができる。

DP5　多様な場で生活するあらゆる人々の健康に着目し、地域包括ケアシステム、チーム医療や多職種との連携・協働の視点を持ち看護を実践することができる。

DP６　心身の健康管理能力及び社会人基礎力や情報活用能力を発展させ、看護の質の向上を目指し、自ら学び続ける姿勢を表現することができる。

【授業の流れ】（全体スケジュール・学習内容・方法等）

回	日程	1 組	2 組	学習内容	方法	備考
1	4/7	3	3	なぜ倫理を学ぶのか、倫理学の基本的な考え方	講義 ポストテスト（5）	林誓雄
2	4/24	2	2	生命倫理：生命倫理とは、4 原則、インフォームドコンセント、守秘義務と個人情報保護	講義 ポストテスト（5）	
3	5/12	2	3	性と生殖の生命倫理 演習Ⅰ：　障がいを理由とした中絶・新生児の安楽死 このテーマについて、グループで考察してみよう。　演習の成果を発表し共有する。	講義　演習 課題レポート （15）	
4	5/19	3	2			
5	5/26	2	3	死の生命倫理 演習Ⅱ：ALS 患者からの治療停止（安楽死）の要望 このテーマについて、グループで考察してみよう。　演習の成果を発表し共有する。	講義　演習 課題レポート （15）	
6	6/2	3	2			
7	6/9	2	3	先端医療と制度をめぐる生命倫理 演習Ⅲ：脳死と臓器移植 このテーマについて、グループで考察してみよう。　演習の成果を発表し共有する。	講義　演習 課題レポート （15）	
8	6/16	3	2			
9	6/12	3	3	看護倫理とはなにか：看護の倫理原則、看護実践上の倫理的概念（アドボカシー、責務、協力、ケアリング）	講義	佐伯美穂子

10	6/19	3	3	専門職の倫理（看護職の倫理綱領） 演習Ⅳ：社会に対して果たす倫理的役割と責任について　演習の成果を発表し共有する。	講義　演習 ポストテスト（5）	
11	6/26	3	3		講義　演習 課題レポート （15）	
12	7/3	3	3	倫理的問題へのアプローチ	講義 ポストテスト（5）	
13	7/10	3	3	看護実践場面での倫理的問題について考察してみよう。（複数事例） 演習の成果を発表し共有する。 学習のまとめ	講義　演習	
14	7/10	4	4			
15	7/17	3	3			
7 月 25 日（金）１限目				筆記試験		

【準備学習内容】

テキストによる事前学習をしっかり行いましょう。テキスト学習を踏まえて授業は進んでいきます。

重要な箇所にはマーカーする、ディスカッション時に活用できるようポイントをメモしておくなど工夫し自己学習しましょう。

課題レポート：３回目～８回目までは、演習Ⅰ～Ⅲがあります。テーマについて調べ学習を行ない、事前にメモなどを作成してまとめておきましょう。
そのメモを踏まえてグループディスカッションしていきます。課題レポートは 4･6･8 回目の授業終了後、提出となります。
11 回目の演習Ⅳについて、自分の考えを事前にレポートにまとめておきましょう。課題レポートは授業終了後、提出となります。

【使用するテキスト】

宮坂道夫他著　系統看護学講座　別巻　看護倫理　医学書院　2025

【参考文献】

峰村淳子･石塚睦子編著『よくわかる看護職の倫理綱領』照林社　2022
吉田みつ子著　川島みどり編『看護倫理　見ているものが違うから起こること』医学書院　2013
吉川洋子他監 『学生のための患者さんの声に学ぶ看護倫理』 日本看護協会出版会　2010
小林亜津子『看護のための生命倫理[改訂三版]』ナカニシヤ出版 2019

【評価方法】

授業終了時のポストテスト（20 点）、課題レポートを含む演習への取り組み･成果（60 点）、筆記試験（20 点）
林誓雄：ポストテスト（10 点）、課題レポートを含む演習への取り組み･成果（45 点）
佐伯美穂子：ポストテスト（10 点）、課題レポートを含む演習への取り組み･成果（15 点）、筆記試験（20 点）
課題レポートは指定された日時までに提出してください。指定日時までに提出されたものを評価の対象とします。

【受講上の注意】

事前学習や復習など自分で学習スケジュールを立て、計画的に行なっていきましょう。

科目 No.12

分　野	基礎分野	科　目	人間関係論		
必修・選択	必修	単位数 時間数（回数）	2 単位 30 時間（15 回）	配当時期	1 年全期
講師名	藤野成美	所属および実務経験	佐賀大学医学部　看護学科教授 ／看護師・保健師		

【科目のねらい】

看護を実践するためには、対象との援助的人間関係・信頼関係を形成することが重要です。また人間関係の形成は看護の対象のみではなく、チーム医療や多職種連携が推進される中で、チームメンバー内での人間関係の形成も重要です。

昨今 ICT の進歩は、人間関係やコミュニケーションにもさまざまな変化をもたらしています。ICT を活用した遠隔コミュニケーションを円滑に進める場合は十分注意する必要があります。ここでは、心理学の学びを想起し、人間関係の基本的理論や人間関係の見方、形成の仕方、円滑なコミュニケーションをとるための工夫、カウンセリングの理論と技法について学び、自ら省みながら理解を深めていきましょう。

【目的】人間関係やカウンセリング技法について学び、看護師として人間関係を形成する上で必要なコミュニケーション能力基礎を養う。

【到達目標】

1．人間関係形成に必要な基本理論について説明することができる。
2．人間関係形成における自己理解、他者理解の必要性について述べることができる。
3．人間関係を形成するために必要なｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ技法（ICT 活用も含む）を実施することができる。
4．人間関係を形成するためのｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞの理論と技法について説明することができる。
5．人間関係の形成、向上のためのコミュニケーションについて演習を振り返り考察することができる。
6．日常生活の人間関係形成に、学びを活かすことができる。

【DP との関連】

DP１　人々の様々な価値観を尊重したコミュニケーションを図り、より良い人間関係を築くことができる。
DP２　看護専門職の役割と責務を自覚し、倫理的判断に基づく看護実践やリーダーシップを示すことができる。
DP３　対象の反応から臨床判断し、健康レベルに応じた看護を科学的根拠に基づき実践することができる。
DP４　対象の QOL（Quality Of Life：生活の質）向上を目指し、対象の持てる力を活かした看護や安心・安全な生活を支援する看護を実践することができる。
DP5　多様な場で生活するあらゆる人々の健康に着目し、地域包括ケアシステム、チーム医療や多職種との連携・協働の視点を持ち看護を実践することができる
DP６　心身の健康管理能力及び社会人基礎力や情報活用能力を発展させ、看護の質の向上を目指し、自ら学び続ける姿勢を表現することができる。

【授業の流れ】（全体スケジュール・学習内容・方法等）

回	日程	1 組	2 組	学習内容	方法	備考
1	5/16	1	1	人間関係論とは	講義　演習	
2	5/23	1	1	人間関係を学ぶ意義　　自己認知、対人認知	講義　演習	
3	6/6	1	1	人間関係についての基本理論①	講義　演習	
4	6/13	1	1	人間関係についての基本理論②	講義　演習	
5	6/20	1	1	人間関係についての基本理論③	講義　演習	
6	7/11	1	1	人間関係におけるコミュニケーション	講義　ポストテスト（4）	
7	7/18	1	1	患者を支える人間関係：対人コミュニケーション	講義　演習	
8	7/25	2	2	保健医療チームの人間関係：対人コミュニケーション	講義　演習	
9	9/12	1	1	ICT 発達とリアルなコミュニケーション	講義　ポストテスト（4）	
10	9/19	2	2	家族を含めた人間関係	講義　ポストテスト（4）	
11	9/26	2	2	人間関係向上へのスキル：アサーティブな問題解決法	講義　ポストテスト（4）	
12	10/10	2	2	人間関係向上へのスキル：コーチング	講義　ポストテスト（4）	
13	10/17	1	1	心を病む人とのコミュニケーション	講義　演習	
14		2	2			
15	10/31	1	1	演習の成果を発表し学びを共有する	講義　演習	
11 月 13 日（木）2 限目				筆記試験		

【準備学習内容】 心理学の学習を活用できるように復習しておきましょう。 テキストによる事前学習をしっかり行いましょう。テキスト学習を踏まえて授業は進んでいきます。 重要な箇所にはマーカーする、ディスカッション時に活用できるようポイントをメモしておくなど工夫し自己学習しましょう。 動画視聴：「心理臨床を学ぶ」の心理臨床の対象とアプローチ、心理療法・カウンセリングについて動画を視聴し理解を深めましょう。
【使用するテキスト】 石川ひろの他著　系統看護学講座　基礎分野　人間関係論　医学書院　2024
【参考文献】 長田久雄編　看護学生のための心理学　医学書院　2016
【評価方法】 授業終了時のポストテスト（20 点）、筆記試験（80 点）
【受講上の注意】 2 単位 30 時間科目です。つまり自己学習が 30 時間となります。事前学習や復習など自分で学習スケジュールを立て、計画的に行なっていきましょう。